

和歌山縣報

第六百四十二號

大正八年四月十一日
金曜日

○ 告 示

○和歌山縣告示第一二〇號

林產副業品製造器具貸與規程左ノ通相定ム

大正八年四月十一日

和歌山縣知事 池松時和

林產副業品製造器具貸與規程

第一條 林產物ノ副業的利用ノ爲ニ要スル器具機械ニシテ適當ト認ムルモノハ本縣ニ於テ購入シ之ヲ希望者ニ貸與ス

第二條 前條ノ器具機械ハ當分ノ内左記ノモノニ限ル

桐下駄挽拔道具

篤竹分割器

醋酸石灰凝結釜

推茸孢子注射器

第三條 前條ノ器具機械ハ無償ニテ貸與ス但シ貸與及返還ニ要スル荷造費運搬費ハ全部希望者ノ負擔トス

第四條 器具機械ノ貸與ヲ受ケタルモノニシテ毀損シタルトキハ賠償又ハ修繕ヲ命ジ或ハ新品ヲ返還セシムルコトアルヘシ

第五條 本規程ニ依ル器具機械ノ貸與ノ目的ハ林產物ノ副業的利用上其效果及使用法ニ關スル智識ヲ一般ニ普及スルニ在ルヲ以テ使用中ハ公開シテ一般ノ觀覽希望者ニ觀覽セシムヘシ

第六條 本規程ニ依ル器具機械ノ貸與ヲ受ケムトスル者ハ第一號様式ニ依ル願書ヲ知事ニ提出スヘシ

第七條 前條ノ願書ハ郡市役所町村役場ヲ經由スヘシ

第八條 郡市町村長前條ノ願書ヲ受理シタルトキハ每件必ス意見ヲ副申スヘシ

第九條 本規程ニ依リ器具機械ノ貸與ヲ受ケタル者ニ對シ知事ハ成績ノ報告ヲ徴シ據付使用方法其他ヲ指示シ及必要アリト認メタルトキハ何時ニテモ返還ヲ命スルコトアルヘシ

第十條 本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第一號 様式

林產副業品製造器具貸與願

器具使用者住所氏名

器具使用場所

器具ノ種類及個數

器具使用方法及目的(大要)

器具貸與期間

器具運搬費荷造費支辨方法

器具返還方法

右貸與相成度此段相願候也

大正 年 月 日

住 所

氏

名 ①

和歌山縣知事宛

○和歌山縣告示第一二二號

那賀郡山崎村役場位置へ今般大字中野黒木九拾九番地ニ變更セリ

大正八年四月十一日

和歌山縣知事 楠 橋 時 和

○和歌山縣告示第一二二號

海草郡西脇野村大字本脇百四十六番地

開業産場

小 谷 ト ミ

右今般産場ノ旨ヲ以テ願出ニ依リ本日左ノ通和歌山縣産場名簿ヲ訂正ス

大正八年四月十一日

和歌山縣知事 池松時和

海草郡西脇野村大字本脇百四十六番地

和田トミ

○町村吏員異動

○大正八年四月八日認可

有田郡安部村助役 杉谷常太郎

○正誤

○縣報第六百三十四號登載和歌山縣令第九號和歌山

縣立高等女學校規則中左ノ通正誤ス

第三頁第四行第八欄ノ二ハ三ノ誤植

第四頁第二行第二欄ノ一ハ誤植 同頁第八行第七

欄講讀作文習字トアルハ同上ノ、

第五頁第四行第九欄全トアルハ全上ノ 同頁第六

行第六欄第八欄ノ二トアルハ三ノ、第七行第二

欄第四欄ノ七トアルハ九ノ、第六欄ノ五トアル

ハ七ノ、第八欄ノ四トアルハ六ノ、

第六頁第一行第六欄二トアルハ一ノ、第四行第五

欄全上トアルハ養物ノ、第五行第二、四、六、

八欄ノ三〇トアルハ三二ノ誤植、第六頁

第四行第六欄第八欄ニ一ノ一字第七欄ニ刺繡ノ

二字ヲ第九欄ニ全上ノ二字ヲ脱漏セリ

第七頁第二行第五欄滿州ハ滿洲ノ同頁第三行第九

欄(求積ノ)トアルハ(求積)ノ誤植

第八頁第一行第四、六、八欄ノ三トアルハ三ノ同

二行第五欄同上トアルハ編物ノ、第八行第七欄

勅書トアルハ詔書ノ誤植

第九頁第一行第六欄五トアルハ六ノ同第五行第六

欄二トアルハ三ノ、第九頁第九行第三欄單音、唱

歌トアルハ單音唱歌ノ同行第六欄復音トアルハ

複音ノ、第一〇頁第一行第三欄遊技トアルハ遊
 戯、同第三行第六欄三トアルハ三二ノ、第一
 頁第三行第三欄臨書トアルハ臨書ノ、第九行
 第一欄敷時授教週毎トアルハ每週敷授時敷ノイ
 ザレモ誤植

第一一頁第三行ノ次ニ左ノ一行ヲ脱漏セリ

唱歌	一	單音唱歌	一	同	上
----	---	------	---	---	---

第一二頁第二行第三欄購讀トアルハ購讀ノ誤植
 第一二頁第六行ノ次ニ左ノ一行ヲ脱漏セリ

圖書	一	寫生書	一	同	上
案書	一	臨書考	一	同上	寫生書臨
		書考案書	一	同上	用器書

第一六頁第十三行御調辰トアルハ御調辰日ノ、第
 一七頁第二行三十一トアルハ三十一日ノ、同第
 八行告トアルハ告示ノ、第十九行第三號書式ト
 アルハ(第三號書式)ノ、

第二〇頁第十行貳圓五拾錢トアルハ貳圓七拾錢ノ
 、同第十二行半減トアルハ半減ノイザレモ誤植
 第一八頁第七行懲戒ノ種類以下ヲ別行トシ項トス
 第二二頁(第三號書式)ノ左側ニ

増印
 收入印紙
 三錢貼用

ヲ脱漏セリ

大正八年四月十一日發行
大正八年四月十一日發行

和歌山縣知事官房

印刷人 和歌山市四丁壹番地
山崎みづ

○ 正 誤

○本月四日發行縣報第六百四十號登載縣告示第一一二號竹林造成獎勵規程左ノ通正誤ス

○和歌山縣告示第一一二號

竹林造成獎勵規程左ノ通相定ム

大正八年四月四日

和歌山縣知事 池松時和

竹 林 造 成 獎 勵 規 程

第一條 新ニ竹林ヲ造成シタルトキハ本規程ニヨリ獎勵金ヲ交付ス

第二條 獎勵金ヲ交付スヘキ竹林ハ苦竹、淡竹、孟宗竹ノ三種ニシテ一團地三畝歩以上ノ土地ニ一

段歩當リ苦竹淡竹ハ五拾株以上孟宗竹ハ三拾株以上ノ母竹ヲ新植スルモノニ限ル

第三條 獎勵金ハ豫算ノ範圍内ニ於テ事業ノ難易成績ノ良否等ヲ斟酌シ一段歩ニ付金拾五圓以内ニ

シテ其ノ經費ノ五分ノ一以内ヲ交付ス

第四條 獎勵金ノ交付ヲ受ケントスルモノハ前年度末日迄ニ左記各號ノ書類ヲ所屬町村役場郡市役

所ヲ經由シ知事ニ提出スヘシ

但シ市町村、町村組合ノモノニアリテハ會議錄原本ヲ添付スヘシ

一、申請書（第一號樣式）

二、圖 面（第二號樣式）

三、經費豫算書

第五條 獎勵金交付ノ指令ヲ受ケタル後事業ノ計畫ヲ變更セムトスルトキハ知事ノ認可ヲ受ケヘシ

第六條 事業終了シタルトキハ直ニ其旨届出タシ

第七條 獎勵金ノ交付ヲ受ケタル竹林ハ左記各號ノ施業ヲ爲スヘキ義務アルモノトス

一、枯損シタル母竹ハ必ス一ケ年以内ニ補植スヘシ

二、母竹植付後五箇年間除草施肥及敷草ヲナスヘシ

三、病虫害ノ驅除豫防其他適當ノ手入れ保護ヲ爲スヘシ

第八條 本規程又ハ申請書記載事項ニ違背シ其他不正ノ行爲アリタルトキハ其ノ指令ヲ取消シ又ハ

獎勵金ヲ減額シ若クハ一部或ハ全部ヲ還付セシムルコトアルヘシ

附 則

第九條 本規程ハ大正七年六月縣令第二拾五號公有林野造林獎勵規則大正三年十二月縣令第二拾七

號荒廢地復舊費補助規程ニヨリ補助金ヲ受クルモノニハ之ヲ適用セス

第十條 大正八年度ニ限リ第四條ノ期日ヲ大正八年七月末日限トス

第一號 樣式

竹林造成獎勵金下付申請

所在地	郡(市)	町(村)大字	字	番地目
土地所有者	住所氏名			
全面積	反 畝 步			

植栽面積	實測(又、見込) 反 畝 步
現 況	雜木林 草生地、畑、何々
竹種及本數	苦竹(淡竹、孟宗竹)何本一反歩當何本
施業期間	年月 日着手 年月 日終了
施業經費	圓 錢 一反歩當 圓 錢

右事業實行可致候間相當獎勵金下付相成度附屬書類添付此段申請候也

年 月 日

住 所

氏

名 印

知 事 宛

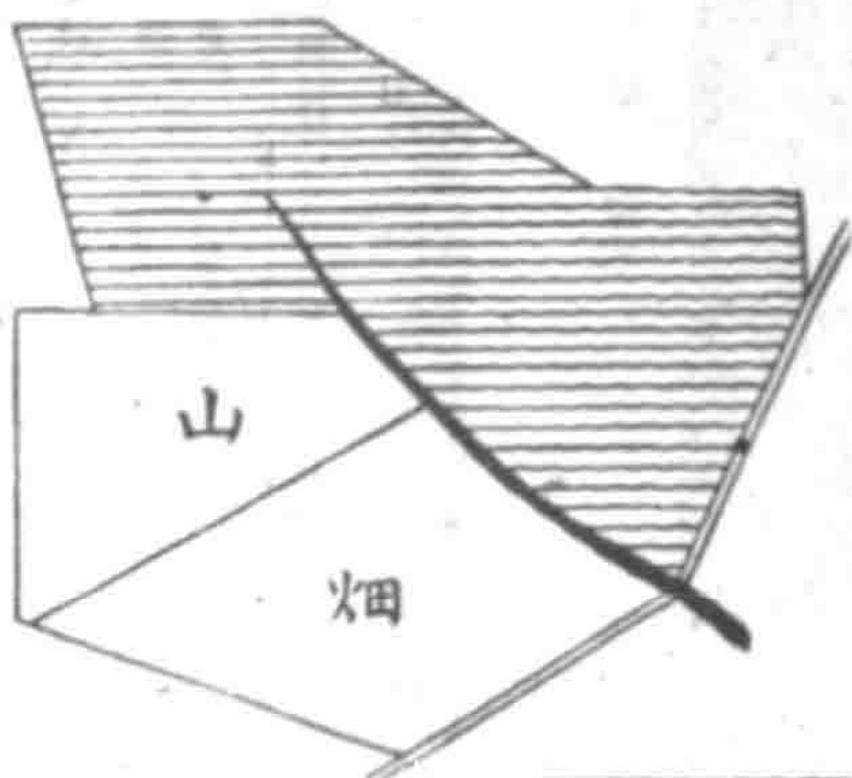
(註) 施業者ト土地所有者ト異ル場合ハ土地所有者ノ連署ヲ要ス

圖地(取見ハ又)測實地成造林竹

目地番何 字 字天 (村)町 (市)郡

步 畝 反 (込見ハ又)測實内ノ步 畝 反

一ノ分何尺縮



			凡 例
新植地	道路(朱色)	河川(藍色)	